項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	豊橋創造大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	トヨハシソウゾウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	経営学部経営学科
	担当教職員名・役職	見目喜重・経営学科長和田剛明・経営学科准教授黒木竜馬・渉外部キャリアセンター主任
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	21
	受入企業等数	27
	受入企業等名	㈱エムアイシーグループ、イシカワ電子㈱、サーラグループ、㈱アイガ、㈱ピコ・ナレッジ、㈱システムサーバー、㈱ブレインシティ、㈱ウェブインパクト、静岡エフエム放送㈱、豊橋鉄道㈱、㈱ほの国百貨店、メガワールド(㈱メガネ流通センター)、㈱江崎商店、豊橋信用金庫、豊川信用金庫、蒲郡信用金庫、㈱ぱる、(公財)浜松市文化振興財団、㈱ツツイエンターテイメント、ホテルアソシア豊橋(㈱ジェイアール東海ホテルズ)、ホテルアークリッシュ豊橋(ガステックサービス㈱)、㈱物語コーポレーション、ユタカコーポレーション㈱(ユタカ産業㈱)、㈱サイエンス・クリエイト、日本ワーキング・ホリデー協会、豊橋市役所、田原市役所
	インターンシップの分類	7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習先企業の業務に合わせて、以下に示すように様々な業務を体験した。①営業関連)顧客訪問、接客対応、書類作成、保安サービスの業務同行、②IT関連)システム開発、ソフトウェア作成、イベント用ポスターの作成、③金融関連)事務処理作業、グループワーク、④販売関連)商品管理、接客対応、⑤行政関連)事務処理作業、備品・消耗品管理　など。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年次学生を対象に、事前準備、夏期休業期間中の就業体験、事後指導を組み合わせたキャリア教育科目「インターンシップ」として実施している。事前準備で得た知識や情報と就業体験中に得た知識・体験を総合し、独自の分析や考察を行うことで、問題発見能力・解決力を修得することを目指す。また、就業体験を通して、組織における人間関係の重要性や求められる専門的能力などを理解することを目指す。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	ガイダンスにて、インターンシップの実施目的や目標について説明を行っている。また、インターンシップへの参加目的を明確にするために、実習先企業の概要や実習内容について調べたことや目標を、グループワークの中で発表させている。これにより、「何が分かっていて、何が分かっていないのか」などを深く考える機会を設けている。また、実習参加に当たり必要となるビジネスマナーの指導や守秘義務の説明を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	実習中に作成した日報を基に実習内容を振り返り、目標の達成度を確認している。また、報告会のプレゼンテーション資料や報告書の作成を通して、テーマの内容・発見した問題点に関する考察を、教員の指摘をフィードバックしながら深めている。

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細（記述欄）	インターンシップ実習期間中に教職員が実習先企業を訪問し、実習内容や実習への参加状況、問題点などを学生および企業担当者と話し合い、確認を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み（記述欄）	
	4-3.上記回答内容に関する詳細（記述欄）	事前準備における自己紹介書の作成と、実習後の報告書および報告会のプレゼンテーション資料の作成を通して、実習先企業および実習内容の理解度や参加意識について確認を行っている。また、実習先企業には実習中の勤務評価、社会人基礎力評価、報告書の校閲・評価を依頼し、その結果を含めて到達度を確認して学生・教職員間で共有している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合（記述欄）	5～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合（記述欄）	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合（記述欄）	
	5-2.以外の実施期間の内容（記述欄）	
	5-3.上記回答内容に関する詳細（記述欄）	基本的には10日間を就業体験の実施期間としているが、受入企業の都合により、一部企業では5日間を実施期間としている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している,4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している,6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容（記述欄）	
	6-3.上記回答内容に関する詳細（記述欄）	実習前の事前訪問にて、実習先企業とプログラムの摺り合わせ・確認を行っている。また、実習期間中には実習担当者に実習評価および社会人基礎力評価を、実習後には報告書の校閲および評価を依頼している。それらの評価結果を基に、実習終了後に実施する座談会では、実習の実施における問題点や次年度の改善策について意見交換を行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	豊橋創造大学
	担当部署名	渉外部キャリアセンター
	担当者役職名	主任
	担当者氏名	黒木竜馬
	電話番号	050-2017-2170
	メールアドレス	kuroki@sozo.ac.jp